

令和4年度あきる野市地域自立支援協議会 第3回全体会記録

- 1 日 時 令和5年2月14日(火) 午前10時～午前11時30分
- 2 会 場 あきる野市役所503会議室
- 3 出席者 藤間委員、加藤委員、高野委員、吉村委員、柳瀬委員、村上委員、深澤委員、
縦山委員、池田委員、石井委員、森田委員、貝瀬委員、見崎委員、川久保委員
- 4 議事
 - (1) 令和5年度あきる野市地域自立支援協議会事業計画(案)
 - (2) 各部会からの報告
 - (3) その他
 - ①秋川ふれあいセンターふれあいホール利用料減免について
 - ②希望の家等の在り方検討委員会の検討結果について
 - ③防災に係るアンケート調査について
 - ④地域生活支援拠点等について
 - ⑤障害教育分野について

開会 障がい者支援課長
資料の確認
議事 進行 高野会長
(1) 令和5年度あきる野市地域自立支援協議会事業計画(案)について 事務局説明 資料に基づき説明 意見 (委員) 本会議の目的である「安心して暮らせるまちづくりを目指して」に基づき、次年度は地域課題の整理と具体的な対策について意見を集約できると良い。 承認手続き 拍手多数により承認
(2) 各部会からの報告について 各部部长から資料に基づき説明 質疑応答及び意見 (委員) 障がいがある人がアパート契約を希望した際、不動産業者から成年後見人がついていることを理由に契約を断られた事例はあるか。またこのような対応の正否について意見を得たい。 (意見等)・成年後見人がついているため契約できなかった事例は聞いたことがある。 成年後見人がついていることを理由に断ることは正しいことではない。 ・不動産業者により、障害に理解を示す業者と受入れが消極的な業者がある。 障害者差別解消法について周知徹底が必要。 ・市内の身体障がいのある人が入居できる物件について、市営住宅以外の選

択肢が乏しい。民間アパートのバリアフリー化を不動産業者等に積極的に働きかけることも必要ではないか。

(委員) はたらく部会について、農福連携等を通年の議題として扱っている点は一連の成果として捉えやすく、出席者の意欲向上にも繋がっているものと思われる。くらす部会は参画団体は多いが出席数が少ない傾向にあるため、事前に各団体や当事者の意見を聴取し、会議の中で共有する等、運営方法の見直しを行ってはどうか。

(委員) 来年度はあきる野市障がい者福祉計画の策定作業がある。障害福祉制度においても大幅な見直しがあるため、各部会で関連する項目について意見聴取を行って欲しい。

(委員) 全体会の役割として、各部会であがった課題を整理していくことが必要。
承認手続き 拍手多数により承認

(3) その他

①秋川ふれあいセンターふれあいホール利用料減免について

障がい者支援課より

あきる野市総合福祉センター使用料減免取扱い基準の一部改正について説明。

質疑応答なし

②希望の家等の在り方検討委員会の検討結果について

障がい者支援課より

令和4年度に設置した希望の家等の在り方検討委員会の検討結果について報告。

質疑応答なし

③防災に係るアンケート調査について

障がい者支援課より

障害者支援施設等における災害対策に係るアンケート調査結果及び、福祉避難所の指定等について報告。

質疑応答なし

④障害教育分野について

委員から小児慢性疾患のある児童の就学相談について事例報告後、意見を交換。

閉会 障がい者支援課長

令和5年度第1回全体会は令和5年6月頃開催予定。